

2026 年 1 月 6 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証プライム / 証券コード : 3762)

PSP、Yonalink との協業を開始

当社の連結子会社（持ち株比率：50.02%）である PSP 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：依田 佳久、以下 PSP）は、Yonalink Ltd.（本社：イスラエル、CEO：Iddo Peleg、以下 Yonalink）との協業を開始したことをお知らせいたします。

具体的には、臨床試験で使用する EDC（Electronic Data Capture）システムへの医療情報の取り込みを簡略化するための技術検証を共同で進めます。PSP が培ってきた、クラウド型医用画像管理システム（通称 PACS：Picture Archiving and Communication System）の技術と、Yonalink の複数の EDC プラットフォームとの電子カルテの自動連携技術を組み合わせることで、手作業によるデータ入力負担を軽減し、データ精度の向上と臨床試験全体の迅速化を目指します。この取り組みは、治験業務の効率化と日本国内における国際共同治験の拡大に寄与し、最終的には患者の治療成果向上に貢献することを目標としています。

PSP は、今後も協業等を通じて医療情報サービスに新たなシナジーを生み出すことで、医療の更なる高度化ならびに患者の QOL（Quality of Life）向上の取り組みを加速してまいります。

Press Release

報道関係者各位

2026 年 1 月 6 日

PSP 株式会社

Yonalink 社との協業を開始

PSP 株式会社（所在地：東京都、代表取締役：依田佳久、以下「PSP」）と Yonalink Ltd.（所在地：イスラエル、CEO:Iddo Peleg、以下「Yonalink」）は、臨床試験で使用する EDC（Electronic Data Capture）システムへの医療情報の取込を簡便化することを目的とした技術的な検証を共同して進めることを発表します。本取り組みは、治験業務の効率化を実現し、日本国内で実施される国際共同治験の機会拡大に寄与することを目指します。

PSP は、クラウド PACS（Picture Archiving and Communication System）で培ってきたクラウドでの医療情報管理技術を活用し、Yonalink は複数の EDC プラットフォームとの連携を自動化する電子カルテ情報の EDC への連携技術を提供します。両社の強みを組み合わせることで、手作業によるデータ入力の負担を軽減し、データ精度の向上および臨床試験全体の迅速化を図ります。より効率的な治験実施を通じて患者アウトカムの向上に貢献することを目指します。

■ PSP 株式会社について

PSP は、医用画像管理システム（PACS）の開発、販売を主力事業としています。全国に約 2,500 施設の顧客を有し、稼働施設数ベースでは国内の 22%超のシェアを有しています。今後、市場における PACS シェアの拡大のみならず、AI 関連事業、一般利用者向けの PHR サービス、医療データ活用事業等、新規サービスの展開を加速して参ります。

■ Yonalink Ltd.について

Yonalink は、イスラエルのテルアビブにて 2019 年に設立されました。場所を問わず、あらゆる患者が臨床試験に参加できるようにすること、また、世界中の臨床試験業務において革新的なスピード、品質、効率性をもたらすことを会社の使命としています。臨床データの収集と検証の複雑なプロセスを簡素化することで、デジタル化による真のスケールビリティを臨床試験の領域で実現します。

お問い合わせ

PSP 株式会社

担当：新規事業開発本部 市場開発課

TEL：03-4346-3180

Mail：market-dev_sec@psp.co.jp